

ツプの初期不良検査がウエ
ハの段階でできる装置Ⅱ
写真Ⅱを共同開発したと発
表した。複数のチップを組
み合わせるマルチチップモ
ジュール向けの技術。実装

まりが従来比で一―三〇程
度向上し製造コスト低減に
つながる。九八年四月をめ
どに実用化する。
マルチチップモジュール
は複数のチップを直接、小

を目指す技術。初期不良検
査は現在、ウエハからチ
ップを切り出してパッケー
ジ化し、温度と電圧を通常
より高くして実施してい
る。マルチチップモジュー

ルではチップ一つに不良が
あった場合でも全体が使え
や導電ゴムを採用した。

を置き、ふたをかぶせる。
八枚のウエハ上に形成し
た三万以上の電極に、ふた
に付いた検査用電極が均一
に接触するよう突起状電極

メドに実用化を目指す
インターネットの通信手
順「TCP/IP」の処理
を高速化するために専用の
LSI（大規模集積回路）
を開発、ATMの通信ボ

ビデオ
教育・販促・
Rise (株) ラ
〒171 東

5日)エ
ンショ、
場(幕
疫学(日
症「ロ
の成立
ツプを
・54
日)東
工大学
蚕の生
の製糸
に約二
事務局
508
▽日
(5)一
区の東
で。約
発表と
どに関
を予定
275
▽日
(17)一
市の名
日本肝
内視鏡
日本消
(す)
務局(

直火談 究論



日本原子力産業会議副会長
森 一久氏

ます。

「最初の火災の後にきちん
と消火を確認しなかったとい
う非常に基本的な部分でのミ
スが爆発という大事故につな
がった。もんじゅ事故よりさ

言える。原子力技術は安全で
事故は起きないということ
を強調し過ぎたため、小さな事
故が起きて大きな社会的影
響が出る。国民に原子力のプ
ラスとマイナスをきちんと説

「大会の基調テーマを『今、
本音で語るとき』としたのは、
推進側と反対派がもっと建設
的な議論をすべきと考えたか
らだ。もんじゅ事故の後に原
子力委員会が設けた原子力政
策円卓会議でも本音の議論が

視点

市民の視点で議論を
新潟県巻町で昨夏に行わ
れた住民投票で原子力発電
所の建設拒否が過半を占
め、東北電力は巻原発を電
力供給の長期計画から外し
た。九州電力も串間原発(宮
崎県串間市)の立地を断念
しており、原発の立地に暗
雲が立ち込めている。「近
くには原発お断り」という

否原発の影響が具体的な形
で表れてきたと言える。
原子力開発に対する反対
は従来のイデオロギー色の
強いものから、生活感覚を
もとにしたものへと変化し
てきている。原産大会で「市
民との対話」を打ち出した
のはそれを踏まえてのこと
だ。ただ、実りある議論が
できるかどうかは、推進側
がどれだけ一般市民の視線
に合わせ原子力を語れるか
にかかっている。
(平崎誠司)

対話促進の契機に

政治は政策の方向提示を

らにお粗末な事故と言わざる
を得ない。組織があまりにも
マニュアルに頼り過ぎて、現
場で迅速な判断ができなかつ
たのではないか。今回の大会
では、事故について動燃に説
明してもらう機会を作った」
「今回の大会の狙いは何
ですか。」

「今の逆風状態はある意味
で原子力の推進側が作ったと
反対派が初めて講演
――大会の準備委員会には

明してこなかったツケが回っ
てきたと言える。今回の大会
は技術水準が高いから事故は
起きないといった説明の仕方
を、原子力関係者自身がなぜ
こうなったかを考える機会と
してほしい」

「そのために大会全体を通
して原子力に批判的な立場の
人に参加を依頼した。二日目
には反対派の代表として原子
力資料情報室の高木仁三郎氏

の講演がある。原産年次大会
で反対派が壇上で講演するの
は初めてで、これまでとはか
なり性格の異なった大会にな
る。これがきっかけになり原
子力関係者と市民の間で定期
的な話し合いの場ができれば
と期待している」

政党の責任者も出席
――原子力開発のあり方を
考える上で政治に何を期待し
ますか。
「単なる理念だけでなく、
具体的な形で将来の原子力開
発やエネルギー利用の姿を示
してほしい。大会では主要政
党の責任者が出席して、各党
のエネルギー政策を明らかに
したうえで討論する場を設け
る。」

3・2
る。事

原産年次大会、批判派も参加

日本原子力産業会議の年次
大会が九―十一日に東京で開
かれる。今回は三十回目とい
う節目の大会で、国内外から
関係者約千三百人の参加が見
込まれるが、動力炉・核燃料
開発事業団(動燃)の再処理
工場事故などにより原子力に
対する逆風がますます強まる
なかでの開催となる。原子力
開発への国民の信頼をどう回
復するのか、同会議の森一久
副会長に年次大会の狙いなど
を聞いた。

動燃に「説明」の機会
――高速増殖炉原型炉「も
んじゅ」の事故に続き、茨城
県東海村の再処理工場で爆発
事故が起き、原子力施設に対
する国民の不安が高まっている